

活動計画【例】

組織の規約の例は、次のとおりである。

〇〇自主防災会活動計画

1. 活動目的

「〇〇自主防災会」は、〇〇町内会会員で構成し、自助・共助の精神に基づき、健全なコミュニティ活動を推進するとともに、地域の防災活動を効果的に行い、災害に強いまちづくりを目指す。

2. 主な活動

平常時の活動

項目	具体的な活動内容	備考
1.災害に備えるための活動	○防災資機材の整備 ○備蓄品の管理	
2.災害による被害を防ぐための活動	○町内各班の住民名簿の作成 ○避難経路図の作成 ○地域の危険箇所の把握 ○要配慮者名簿の作成	
3.災害時の活動の習得	○消火訓練・避難訓練 ○給食給水訓練	年1回程度実施

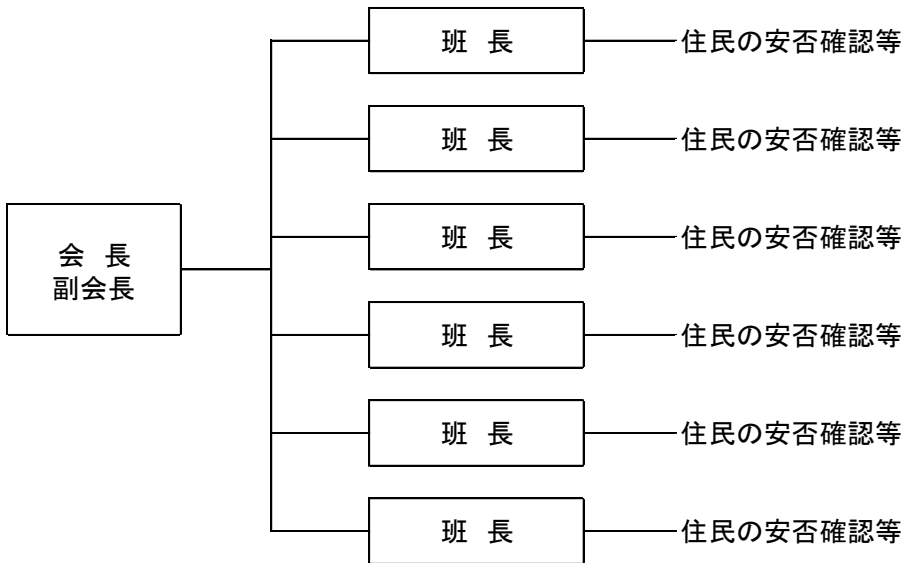
災害時の活動

項目	具体的な活動内容
1.情報収集・伝達活動	○「情報の伝達」「安否確認（無事・負傷など）」「被害状況の確認（全壊・半壊など）」などについて ○町を含む防災機関との連絡
2.初期消火活動	○消火器などによる消火活動
3.避難誘導活動	○住民を避難所へ誘導 ○要配慮者への避難支援 ○住民の安否の確認（無事・負傷など）

※活動は各班（組）の班長が責任者として行動すること。

3. 防災会の組織図

【〇〇町内】 自主防災会活動班編成表



※各町内会の実情にあった班編成をして下さい。

- 【ポイント】**
- ①名簿の作成はあくまで各自主防災組織の判断で実施するものです。以下には、あくまで作成する場合の例を記載しております。
 - ②作成する場合、住民名簿は、災害時の安否確認用として使用するのので、「組」「班」が分かるように整理するとよい。名簿の各個人の「生年月日」「年齢」「特記事項」などの欄については、町内会員として知ることができる範囲内でよいと考えています。
 - ③なお、「名簿」自体を規約整備時点で作成するのではなく、立ち上げ後の活動で作成することとし、以下に「別に作成する。」とする方法もあるかと思われます。

4. 住民名簿及び要配慮者名簿

〇〇防災会（町内会）住民名簿

No.	氏名	生年月日	年 齢	性	電話番号	住所	特記事項 (状況・障がい・難病等)	備考 (親族連絡先など)
1	五城太郎	s 2. 4. 1	93	男	852-0000	〇町 2 番地 2	足不自由・要介 護 2・独高齢	息子(一郎)秋田市 090-000-0000
2								
3								
4								



※「別に作成する。」でもよいです。そういう町内会もあります。